

建築大工 Q & A

Q 1 競技課題「3. 仕様（6） 6） 各桁と各隅木各たる木・・・」の「各たる木」に⑭振れたる木は含まれますか？ 含まれないとすれば、②桁と⑭振れたる木はビス止めをしないのでしょうか。

また、⑭振れたる木と⑧棟木はビス止めしてよいでしょうか。

A 1 「各たる木」に⑭振れたる木は含まれます。したがって、②桁と⑭振れたる木はビス止めをします。

また、⑭振れたる木と⑧棟木はビス止めしますが、止め方については、前日の課題説明時に説明します。

Q 2 競技中にトレーシングペーパーを使用してもいいでしょうか。

A 2 トレーシングペーパーを持ち込んで、木口型を写し取ることに使用することはできません。勾配等の寸法については、当日配布される課題（課題図）用紙に競技開始後メモすること等はできます。

Q 3 競技課題「概要」の中で「仕様及び課題図をもとに作成すること（課題図に示した②⑤桁の勾配～（略））」とありますが、桁の勾配とは何でしょうか。角度ということでしょうか。

A 3 ②⑤桁の勾配とは、桁の水平方向の角度のことです。

Q 4 課題図の左側図面で⑧棟木の山のクセが平行でないのはミスプリントでしょうか。

A 4 左側面図で⑧棟木の山のクセの線がずれていましたので、課題図を修正しました。

Q 5 競技時間 11 時間 45 分は、打切り時間でしょうか。

A 5 打切り時間です。

Q 6 当日公表について、⑭の振たる木の位置が変わるのか、⑮という材料が追加になるのか教えてください。

A 6 ⑮の部材の位置等については当日公表となっています（⑭の部材とは別の部材）。⑭振れたる木の位置が変わるわけではありません。2）

Q 7 競技課題「3. 仕様（5）墨付け 2）に ※ 墨付けに限りけびきは禁止する。」とあります。昨年までは「※ けびき及びその上に墨入れを行うことは禁止する。」となっていますが、今年から墨付けの際に、けびきでマーキングする作業も禁止という解釈でしょうか。要するに、けびきの使用自体を禁止という解釈なのでしょうか。

A 7 墨付け時に限り、けびきの使用はできないということであり、墨付けの際に、けびきで端部にマーキングする作業もできません。墨付け時以外の木削り時等には、もちろん使用できます。

Q 8 墨付けのときにけがきゲージは使用してもよいでしょうか。

A 8 競技課題文の5. 持参工具(6)に「寸法の入った工具類はさしがね、スコヤ、直定規に限る」としており、けがき定規(けがきゲージ)はこれから逸脱する工具と見なし、使用することはできません。

Q 9 木作りの最中にしん墨を打つ行為も墨付けと判断されるでしょうか。判断されない場合は、けびきを用いてしん墨をうってでもいいでしょうか。

A 9 A 7に記述したように、木作り(木削り)の時に、けびきを使用して印をすることはできます。

Q 10 14、12 番のたる木と振れたる木の取り合い墨について、14 番の振れたる木には、原寸図および墨付け時にこの取り合い墨を書く必要はありますか。

A 10 14 番の振れたる木及び 12 番のたる木には原寸図、部材墨付け時に取合い墨を記して下さい。

Q 11 Q & AのA 7に「墨付けの際に、けびきで端部にマーキングする作業もできません。」とありますが、これは、材幅芯墨を墨つぼで墨打ちする前段取りとして、材端部に毛引きによる位置出しのことを言っていますか。

A 11 材端部に毛引きによる位置出しのこと」を言っています。A 7に回答したように墨付け時以外の木削り時等に使用することは構いません。

Q 12 木取りの際に、補助線として墨を用いてもいいのでしょうか。

A 12 特に差し支えありません。

Q 13 競技課題の5. 持参工具に「寸法の入った工具類はさしがね、スコヤ、直定規に限るとありますが、寸法が目盛りが入った三角定規、毛引は使用可能ですか。
(松井精密工業服尺付き鎌毛引、また、その他一般に市販されている目盛りの入った毛引も含む)

A 13 三角定規で、特殊な目盛りでなく通常の mm 単位が目盛りが入ったものは使用可能です。けびきで副尺付きの精密な寸法を出せるものは使用できません。1mm 単位が目盛りが入ったものであれば使用可能です。

Q 14 作業スペースの広さを教えてください

A 14 作業スペースは、2.5m×3.0m です。

Q 15 墨付けの際、線を太く塗りつぶしての消し墨は墨として認められますか。 また、消し墨をした事により減点等がありますか。

A 15 不要な墨、消し墨については、作品の出来映えとして減点の対象になることがあります。

- Q 1 6 当日発表の部材およびその取り合いの部材について、図面採点もしくは部材採点后、あるいは1日目競技終了後に再検討し、2日目の競技時間内に リトライし取り付けた場合、製品採点の「作品の総体の出来栄え」の採点対象となるでしょうか。
- A 1 6 採点は、図面採点、墨付け部材採点、作品の出来映え採点と個別に採点し集計しますので、作品ができあがっていれば採点の対象になります。